

# 不活化ポリオワクチンについて

## 1. ポリオ

ポリオはポリオウイルス（1型、2型、3型）の感染により引き起こされます。感染すると多くが不顕性感染といって症状がないか、軽い感冒症状や胃腸炎症状で終わります。しかし、一部に麻痺を生じ後遺症が残ります。唾液や分泌物からも感染する可能性があります。多くは糞便を介して感染します。

日本では1981年以降、野生株によるポリオは報告されていません。2010年の時点で、野生株のポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタン、インド、ナイジェリアとなっています。

近年、国内で報告されているポリオは全て経口生ポリオワクチン（OPV）の副反応によるワクチン関連発症ポリオ（VAPP）です。

しかし、海外からの流行の可能性やポリオの治療法がないことからワクチン接種は続けていく必要があります。

## 2. 治療法

残念ながらポリオに罹患してしまうと治療法は存在しません。

## 3. ワクチン

ポリオワクチンは経口生ポリオワクチン（OPV）と不活化ポリオワクチン（IPV）の2種類が実用化されています。OPVの有用性は疑いようのないものですが、200万人に1人の割合でVAPPが起こります。このため、世界各国がIPVへ移行していますが、2011年11月現在、わが国ではIPVは承認されていません。

OPV メリット；安価である、国内の補償がある

デメリット；VAPPの可能性がある

IPV                    メリット；VAPPの可能性がない

デメリット；高価である、国内の補償がない

## 4. 副反応

重篤な副反応はないとされています。

一部に発赤0.7-2.4%、腫脹0.4%、圧痛0.7-34%が起こります。

アナフィラキシー<0.01%

## 5. スケジュール

推奨：初回（生後2か月）・2回目（4か月）・3回目（6-18か月）・4回目（4-6歳）

その他：初回（任意）・2回目（4-8週後）・3回目（4-8週後）・4回目（4-6歳）

## 6. 製品について

製品名：IMOVAX Polio

製造：sanofi Pasteur

輸入元：Monzen corporation (<http://www.monzen.co.jp/>)

投与量：0.5ml

接種部位：大腿

費用：1回5250円

## 7. 投与できない場合

明らかな発熱（37.5度以上）や急性疾患のある場合

抗生剤（ネオマイシン、ストレプトマイシン、ポリミキシンB）に過敏な場合

医師が不適切であると判断した場合

## 8. 救済制度について

定期予防接種と違い、予防接種法に基づく「健康被害救済制度」は利用できません。

国内の任意予防接種に適応される「医薬品副作用被害救済制度」による補償も受けられません。ただし、輸入業者（Monzen corporation）による「輸入ワクチン副作用被害救済制度」による補償を受けることができます。